

2020年10月30日
公益財団法人イオン環境財団

地域の皆さまとともに 「苗木の里親プロジェクト」を開始

公益財団法人イオン環境財団(理事長 岡田卓也 イオン株式会社名誉会長相談役 以下当財団)は、10月から地域の皆さまとともに取り組む「苗木の里親プロジェクト」を新たに開始しました。

当財団は、自然災害や伐採などで荒廃した森の再生を目指し、アジアを中心に世界各地のボランティアの皆さまとともに植樹活動を継続実施してまいりました。これまでの30年間、世界11カ国で植樹を行い、イオンの累計植樹本数は1,212万本を超えています。

本年は、新型コロナウイルス感染症の世界的拡大により、社会も生活も大きく変わりました。この状況下、植樹地に出向かずに森づくりに参画頂ける活動として、本プロジェクトを実施します。これまで森づくりにともに取り組んできた地域ボランティアの皆さまに苗木をお預けし、自宅や学校等で約1年間育て、その苗木をイオンの森に植樹します。

本プロジェクトを通じて、地域の皆さまとともに新たな森づくりに取り組むことで「イオンの里山」の実現を目指します。

なお、沖縄県では、首里城復興支援の一環として、建築資材となるイヌマキの苗木を地域の里親の皆さまにお預けし、国頭辺野喜ダム周辺で植樹します。

当財団は、いのちあふれる美しい地球を次代に引き継ぐため、今後も環境活動を積極的に継続してまいります。

【苗木の里親プロジェクト 概要】

- 主な配布日程： 2020年10月15日(木)～30日(金)
- 配布場所： 100カ所(全国の植樹地近隣の小学校・大学・行政・イオン店舗等)
- 樹種： 29樹種(各地域の自生種)
- 本数： 10,000本
- 植樹日程： 2021年度中
- 植樹地： 北海道南富良野町 宮城県石巻市 宮城県亘理町 群馬県みなかみ町
(イオンの森) 千葉県千葉市 千葉県九十九里浜 石川県白山市 三重県松阪市
宮崎県綾町 沖縄県国頭村 沖縄県宜野湾市他

以上

ご参考

【全国での苗木配布の様子】



苗木里親プロジェクト AEON

地域ボランティアの皆さまとともに新たな「イオンの森づくり」を始めます。継続して苗木を育てて頂き、1年後、全国のイオンの森に植樹します。

配布 2020年10月

苗木のホームステイ中 1年間育てて下さい

植樹 全国のイオンの森で植樹します

苗木のホームステイ後 指定場所に苗木をお持ち下さい



任命書

貴殿を、

イオン環境財団の苗木里親プロジェクト
苗木の里親

に任命致します

2020年 10月 21日



■公益財団法人イオン環境財団について

1990年「お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する」というイオンの基本理念のもと設立され、本年で30年を迎えました。時代とともに変化する環境課題に応じた事業を継続実施しており、現在は「イオンの森づくり」・「助成」・「環境教育」・「パートナーシップ」の4事業を中心にステークホルダーの皆さまとともに環境活動を進めています。

<公益財団法人イオン環境財団ホームページ : <http://www.aeon.info/ef/> >

■イオンの森づくり

「植える」活動に加え「育てる」「活かす」活動にも取り組んでおり、そのひとつがユネスコエコパークとして登録されている宮崎県東諸県郡綾町と連携した森づくりです。伐採時期を迎え、中学校の建設材に活用された町有林の跡地にて植樹を行うとともに森林を中心とした環境教育に取り組んでいます。



綾町（2019年）



植樹地から伐採された木材で建設された綾町立綾中学校



ユネスコエコパークセンターでの環境教育



三重県松阪市（2018年）



千葉県九十九里浜（2019年）



千葉県千葉市（2018年）



宮城県亘理町（2018年）



宮城県石巻市（2019年）



北海道南富良野町（2019年）

■イオンの里山づくり

時代に即した環境課題の解決を目指すため、2020年9月、早稲田大学内に「AEON TOWAリサーチセンター」を設立しました。本リサーチセンターは、これまでの経験や知見、学術研究を統合し、持続可能な社会の実現を目指していくものです。森づくり、地域づくり、人づくりに取り組み「地球環境の持続性」「人と生活の持続性」「地域社会の持続性」という観点から、新たな「イオンの里山」の構築を目指します。